

コンサル無料！！休める稼げる農業を推進する生産流通サービス

株式会社果実堂テクノロジー（熊本県）



果実堂テクノロジーは、農業法人の「休める稼げる農業」を実現し、農業の持続的発展を牽引します。

アグリカルチャーソリューション事例紹介

ベビーリーフ栽培で業界トップシェアを誇る果実堂グループの技術普及部門として機能。土壌の水分・肥料管理技術および事務作業の効率化ノウハウを農業法人に提供し、収量増・コスト減・作業量減による「休める稼げる農業」の展開を推進。コンサルティングを無償提供する代わりに、農業法人から収穫物を買取り、果実堂が持つ250社6,000店舗の販路で流通させることでマネタイズしている。

受賞ポイント

- ★ **技術提供により、農業法人の生産性向上を実現：** 農薬・肥料の無駄な使用を抑えることで、農業の土台となる環境の持続性にも貢献している。
- ★ **顧客の声を商品開発に反映：** 250社6,000店舗の販路を有する強みを生かし、実需者（消費者・スーパーマーケットバイヤー）の意見を生産に反映。従来の市場流通では実現できなかった商品を開発している。
- ★ **日本農業の持続性と発展性への寄与：** 農業法人の課題に対し、生産・流通・販売および従事者の働き方を一元的に捉えて解決を図る取り組みは、日本の農業全体の持続性と発展性を高める大きなヒントとなり得る。

事業者概要

農業生産会社からコンサルティング事業を分離・独立

親会社である果実堂は、ベビーリーフの農業生産会社。これまで培ってきた具体的な技術・ノウハウの共有を通じた課題解決を目的として農業コンサルティング事業を分割し、2016年に果実堂テクノロジーを設立。日本全国に「休める農業、稼げる農業」を普及させ、日本農業を豊かで魅力的な産業に変革することを目指す。

サービス誕生の背景・経緯

自社で蓄積してきた知見と技術を活用

多くの農業法人が労務・収益改善に苦しみ、就農人口が大幅に減少する状況が続いている。果実堂一社のみが生産性を向上させたとしても、日本農業の危機的状況は変わらないとの思いから、自社の知見と技術を他の農業法人に提供するコンサルティングサービスを開始。本サービスを通

コンサルティング領域

開発	事業計画案	栽培体系	商品化
<ul style="list-style-type: none"> ●ブランディング ●商品開発、提案 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価、粗利益の算出 ●事業計画全体・栽培スケジュール等の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ●栽培法のアドバイス ●オペレーションの見直し（作業の標準化・マニュアル化） ●人材育成のサポート ●農業資材、ビニールハウスの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ●販売支援 ●機械化、IoT活用 ●大規模農業化

じ、多くの農業法人が収量増加やコスト削減を実現し、安定した収益を上げることができるようになっている。

サービスの概要と特徴

実践的かつ具体的なメニューを通じた支援

多くのコンサルティング企業が経営面のアドバイスを主としているのに対し、現場で培った土壌水分・肥料管理や加工の技術、受発注を中心とした事務作業の効率化など、実践的かつ具体的な支援を行う。

土壌分析に基づく適切な水分・肥料管理、およびその先の有機栽培技術の導入支援により、作業効率向上・コスト低減・付加価値向上のみならず、環境負荷も低減させている。

生産物を買取り、果実堂の販路で販売

これまでに培った技術やノウハウを他の農業法人に無料で提供し、業務効率化と生産性向上を支援。指導により収量がアップした分も含めて生産物を買取り、果実堂の販路（6,000店舗）で販売するという長期的視野での収益モデルを構築している。指導先の成果が自社および果実堂の収益やシェアの拡大につながる Win-Win の収益モデルを構築している。

生産から販売までを一貫支援し生産性向上につなげる

農業法人が抱える課題に対し、経験に基づいた具体的なノウハウを提供し、川上の「生産」から川下の「販売」まで、一貫して支援することで支援先および自社の生産性向上と収益性向上につなげている。

- ・夏の高温時・冬の降雪時にかかわらず回転率を上げたい
- ・生育ムラをなくし、生産効率を上げたい
- ・圃場・株単位で起こる生育のばらつきを改善したい
- ・水分管理をはじめとした生産体制を見直したい
- ・肥料をどれだけ投入したらよいか
- ・なかなか設備投資できないが、規模を拡大したい
- ・技術の標準化を行い、社員が誰でもできる農業にしたい
- ・働きやすい環境を整えるマニュアルを作りたい

農家や農業法人から寄せられた意向の例



コンサルティングメニューのひとつである土壌分析。分析結果に基づき肥料施肥を設計する



今までまったく農業との関わりがなかった企業のゼロベースからの農業への新規参入向けハウスソリューションにおけるビニールハウスの設計例。自動灌水等により収量量倍増を見込む

組織データ

組織名	株式会社果実堂テクノロジー
創立年	2016年
業種	農林水産、業務支援サービス
本社所在地	熊本県 上益城郡 益城町
従業員数	9名